

第8回(平成9年度)通信利用動向調査

目次

<事業所編>

情報通信

情報通信関連機器

- 1 情報通信関連機器の保有状況
- 2 携帯電話などの保有率(事業所属性別)
- 3 ファクシミリなどの保有率(事業所属性別)
- 4 携帯情報端末の通信端末としての利用状況

パソコン通信サービス・インターネット

- 1 パソコン通信サービスの利用状況
- 2 インターネットの利用状況
- 3 インターネットの利用方法
- 4 パソコン通信サービスとインターネットの利用可能な端末台数
- 5 パソコン通信サービスとインターネットの利用用途
- 6 パソコン通信サービスとインターネットの併用状況

通信手段の選択

- 1 情報通信メディアの利用状況
- 2 情報通信メディアの選択状況

郵便

- 1 昨年と比較した今年の郵便等の差出数の変化
- 2 国内郵便・宅配便の利用状況(平成9年9月の1か月間)
- 3 海外への情報発信や小荷物送付の利用状況
- 4 国際通信サービスの利用状況
- 5 ダイレクトメールの利用状況
- 6 ダイレクトメールの年間発送回数、発送通数
- 7 ダイレクトメールに占める封書とはがきの割合
- 8 ダイレクトメール発送数の増減状況
- 9 ダイレクトメール等郵便物の差出作業の委託状況

事業所における利用料金

- 1 国内郵便料金の支払額(平成9年9月の1か月間)
- 2 国内宅配便料金の支払額(平成9年9月の1か月間)
- 3 国内加入電話料金の支払額(平成9年9月の1か月間)
- 4 国内移動電話料金の支払額(平成9年9月の1か月間)
- 5 無線呼出し料金の支払額(平成9年9月の1か月間)
- 6 パソコン通信サービスとインターネットの利用料金(平成9年9月の1か月間)
- 7 国内通信サービスの料金支払額構成比
- 8 国際通信サービスの料金支払額(平成9年9月の1か月間)

事業所編

【 情報通信 】

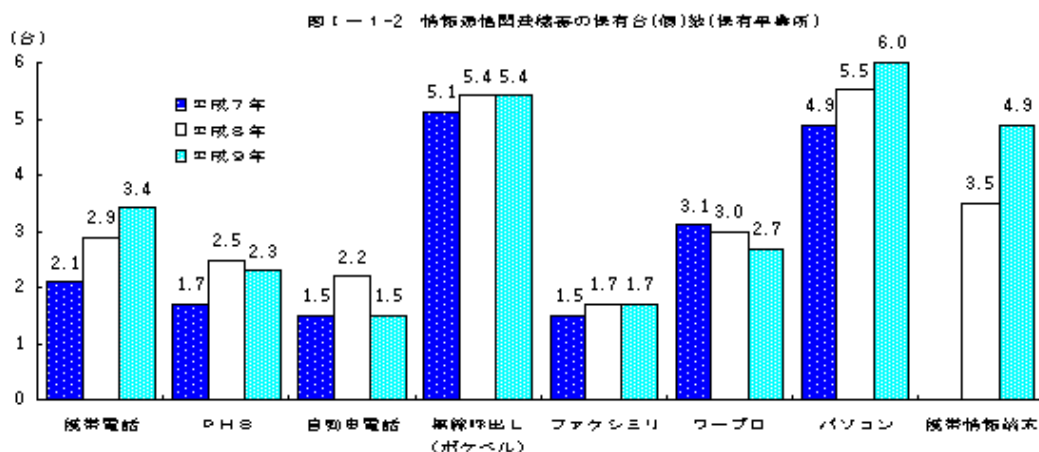
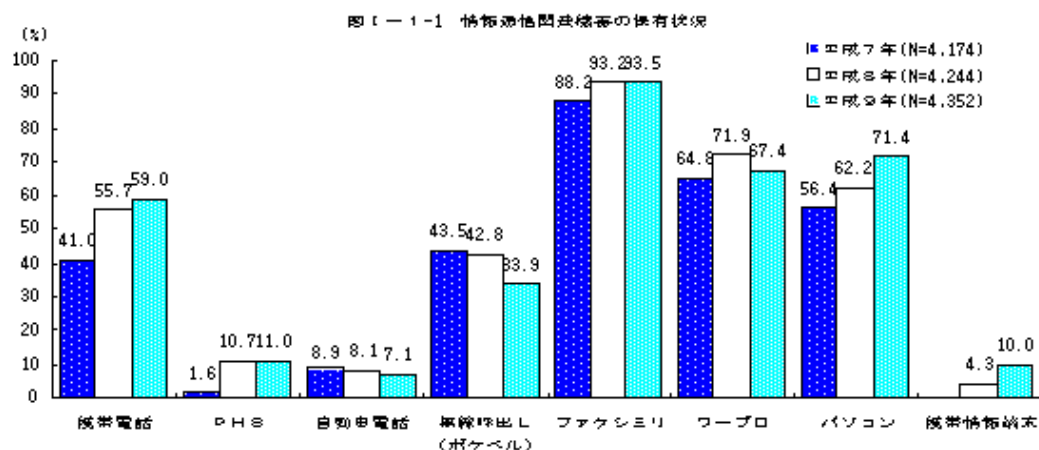
《 情報通信関連機器 》

1 情報通信関連機器の保有状況

主な情報通信関連機器の保有率は、携帯電話59.0%、PHS(簡易型携帯電話)11.0%、自動車電話7.1%、無線呼出し(ポケベル)33.9%、ファクシミリ93.5%、ワープロ67.4%、パソコン71.4%及び携帯情報端末10.0%であった。

前年調査と比較をすると、携帯電話は3.3ポイント、パソコンは9.2ポイント、携帯情報端末は5.7ポイントそれぞれ増加している。

保有事業所の1事業所当たりの平均保有台(個)数は、携帯電話3.4台、PHS2.3台、自動車電話1.5台、無線呼出し5.4台、ファクシミリ1.7台、ワープロ3.0台、パソコン6.0台及び携帯情報端末4.9台となっている。



事業所編

【 情報通信 】

《 情報通信関連機器 》

2 携帯電話などの保有率(事業所 属性別)

携帯電話、自動車電話、PHS及び無線呼出しの保有率を事業所属性別にみると、携帯電話は建設業(93.0%)、PHSは不動産業(18.3%)、自動車電話は公務(16.9%)、無線呼出しは建設業(59.0%)がそれぞれ産業間で最も保有率が高くなっている。

また、これらの機器の保有率は、従業者規模に比例して高くなっており、携帯電話の保有率は100人以上の事業所では7割(70.8%)を超えている。

図 I - 2-1 携帯電話などの産業別保有率

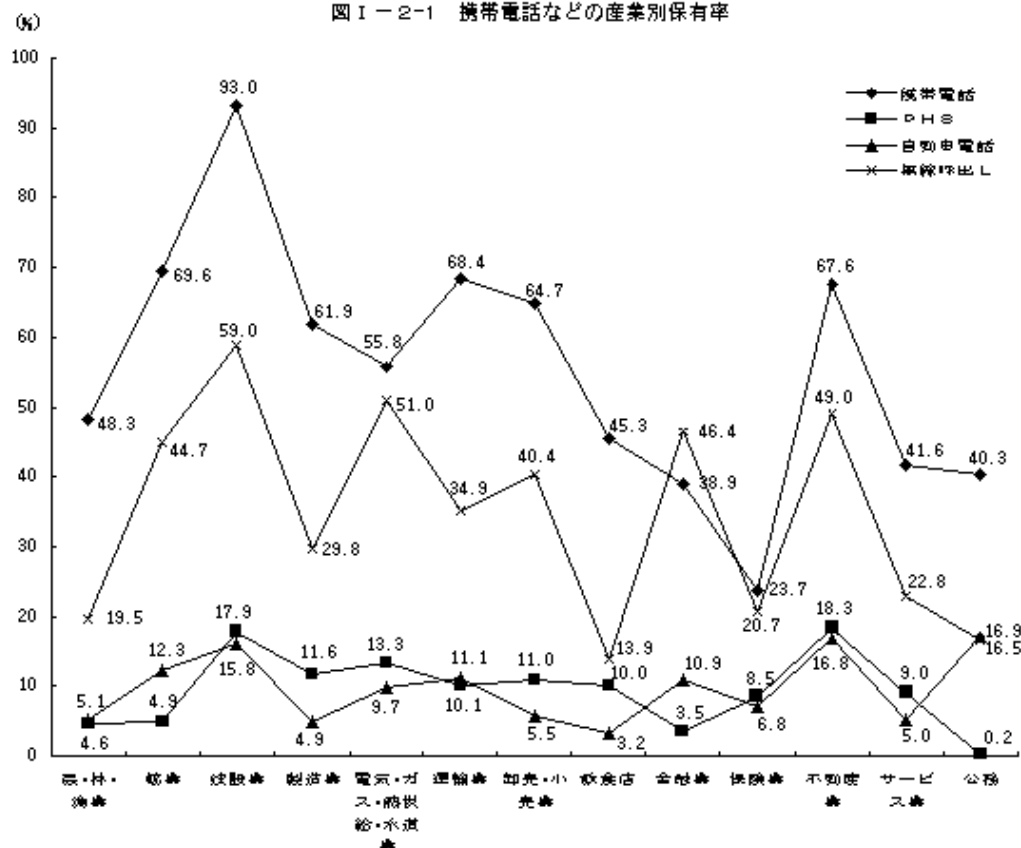
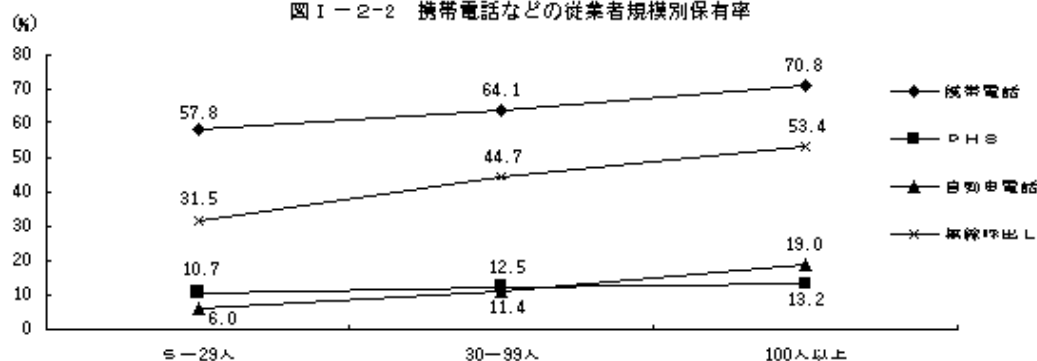


図 I - 2-2 携帯電話などの従業者規模別保有率



事業所編

【 情報通信 】

《 情報通信関連機器 》

3 ファクシミリなどの保有率(事業所 属性別)

ファクシミリ、ワープロ、パソコン及び携帯情報端末の保有率を事業所属性別にみると、ファクシミリは保険業(99.5%)、ワープロは公務(90.6%)、パソコンは電気・ガス・熱供給・水道業(89.3%)、携帯情報端末は保険業(34.1%)がそれぞれ産業間で最も保有率が高くなっている。

従業者規模別にみると、携帯情報端末のみ30~99人と100人以上で差が見られないが、それ以外の機器では、従業者規模に比例して高くなっている。

図 I-3-1 ファクシミリなどの産業別保有率

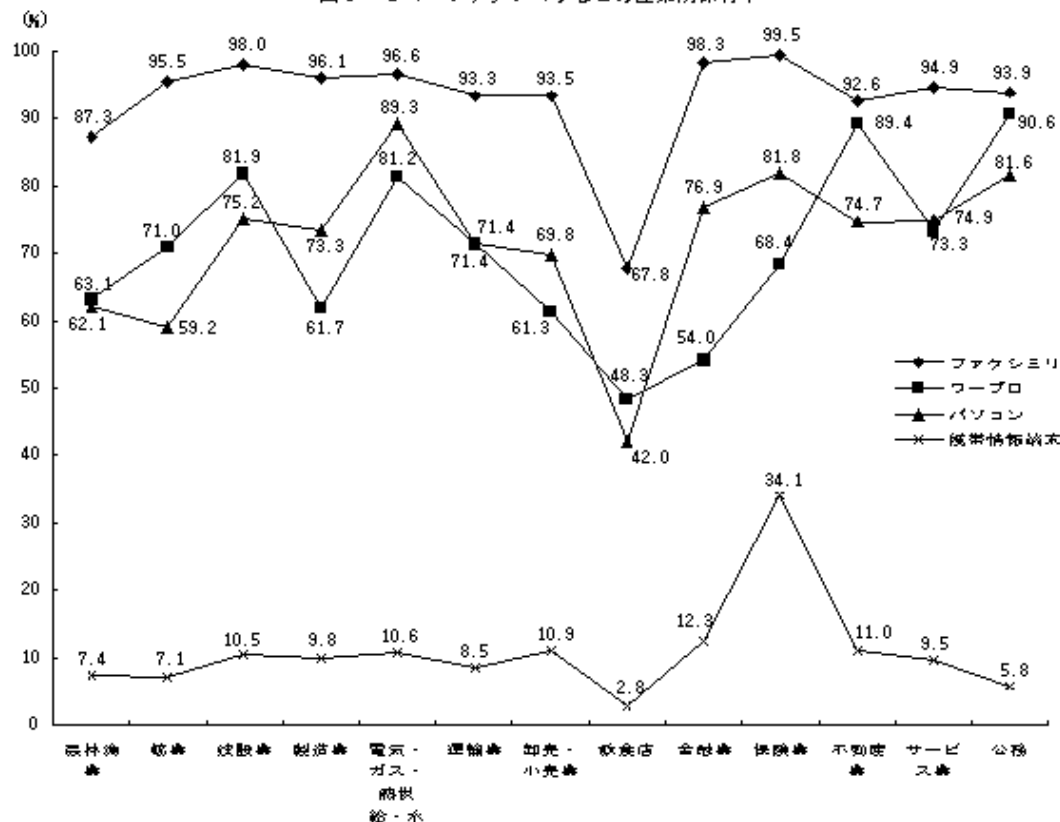
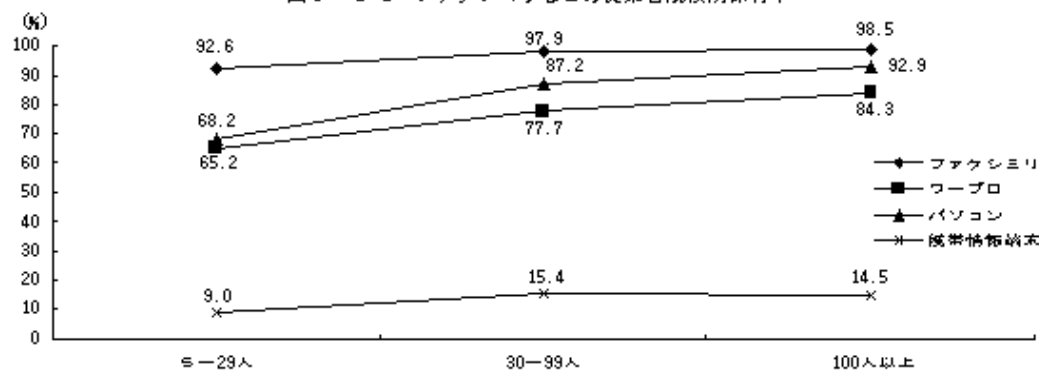


図 I-3-2 ファクシミリなどの従業者規模別保有率



事業所編

【 情報通信 】

《 情報通信関連機器 》

4 携帯情報端末の通信端末としての利用状況

携帯情報端末を利用している事業所のうち、データの送受信や電子メールなどの通信端末として利用している事業所は49.4%であり、そのうちすべての端末を通信端末としているのは12.7%であった。前年調査と比較すると、すべての端末で利用している事業所は6.6ポイント減少しているが、一部の端末で利用している事業所は12.6ポイント増加しており、通信端末として利用している事業所は6.0ポイント増加している。

従業員規模別にみると、従業員規模に比例して利用率が高くなっており、100人以上の事業所では、すべての端末で利用している割合が35.0%と高い。

図 I-4-1 携帯情報端末の通信端末としての利用状況

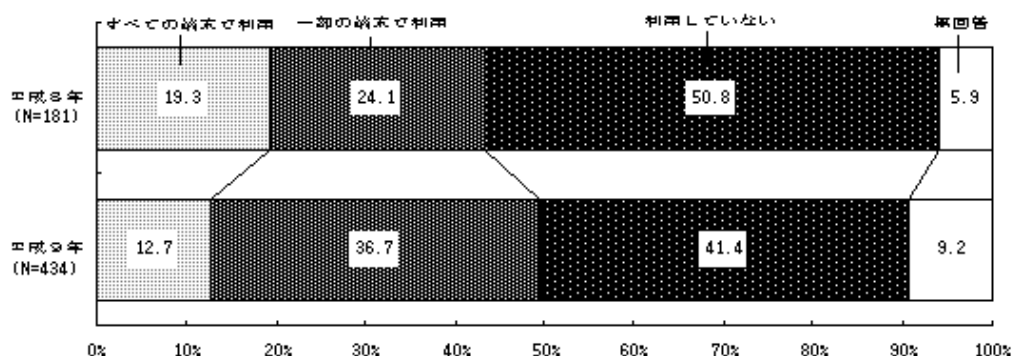
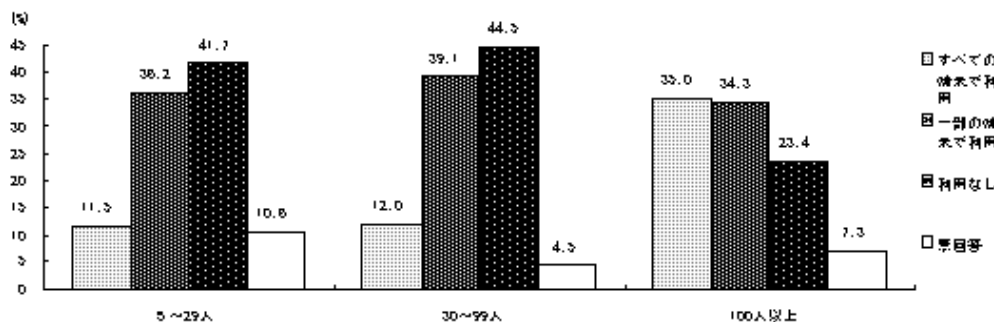


図 I-4-2 携帯情報端末の通信端末としての利用状況(従業員規模別)



事業所編

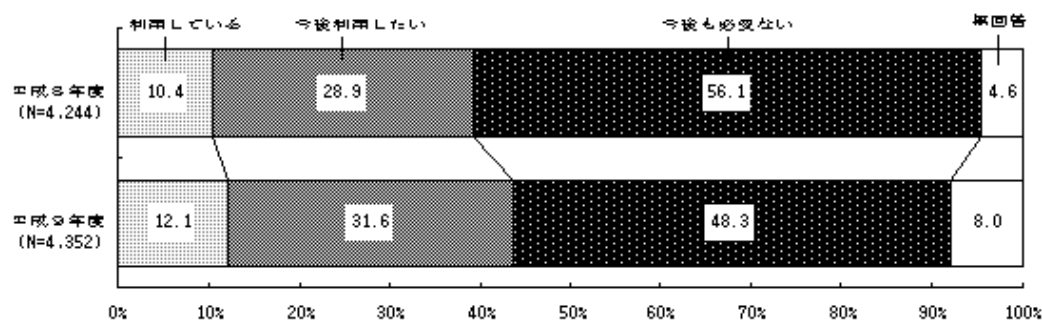
【 情報通信 】

《 パソコン通信サービス・インターネット 》

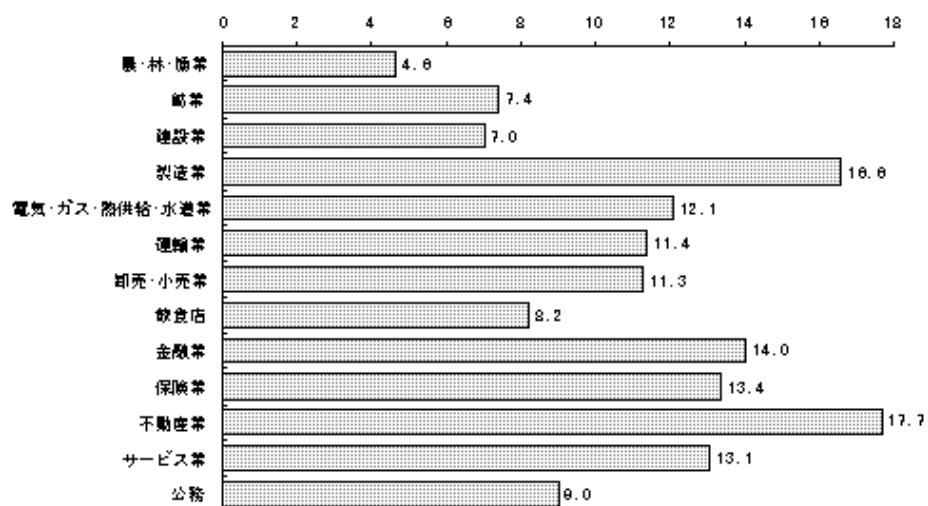
1 パソコン通信サービスの利用状況

事業所におけるパソコン通信の利用率は12.1%であった。前年調査と比較すると、1.7ポイント増加した。また、今後利用したいと考える事業所(具体的に利用の予定があると利用の要望がある事業所の割合の合計)は31.6%であり、既に利用している事業所と合わせると43.7%の事業所で今後の利用が期待される。産業別では、不動産業(17.7%)、製造業の利用率が高い。

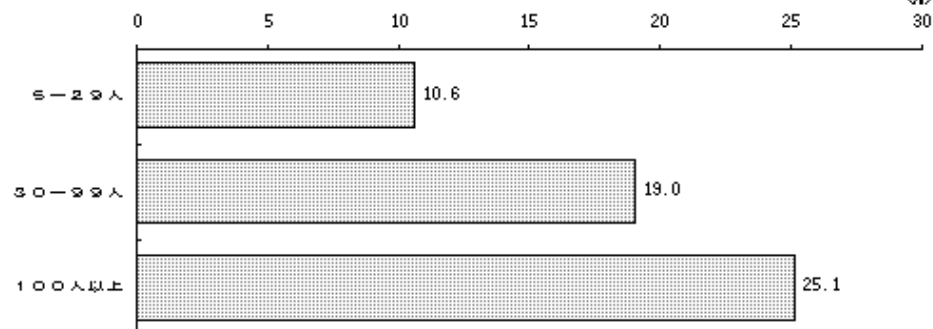
図Ⅱ-1-1 パソコン通信サービスの利用状況



図Ⅱ-1-2 パソコン通信サービスの産業別利用率 (%)



図Ⅱ-1-3 パソコン通信サービスの従業者規模別利用率 (%)



事業所編

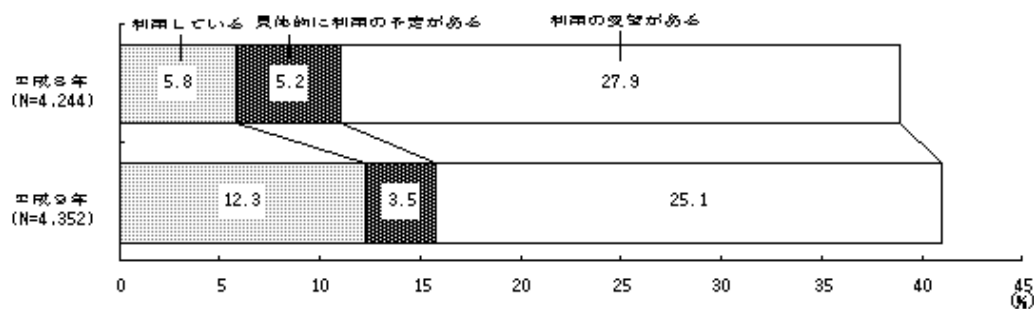
【 情報通信 】

《 パソコン通信サービス・インターネット 》

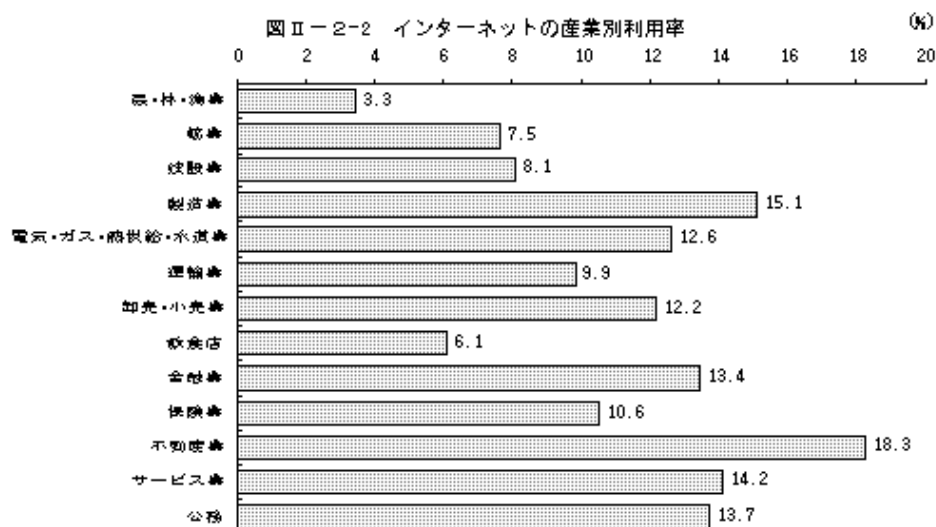
2 インターネットの利用状況

事業所におけるインターネットの利用率は12.3%で、前年調査と比較すると6.5ポイント増加した。産業別では、不動産業が18.3%で最も高く、製造業15.1%、サービス業14.2%が続いている。従業員規模別にみると、大規模企業ほど利用率が高く、100人以上の事業所では利用率が3割(32.5%)を超えている。

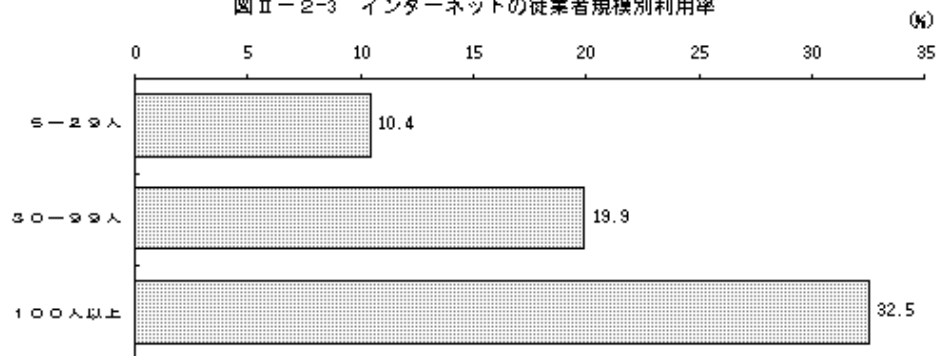
図Ⅱ-2-1 インターネットの利用状況



図Ⅱ-2-2 インターネットの産業別利用率



図Ⅱ-2-3 インターネットの従業員規模別利用率



事業所編

【 情報通信 】

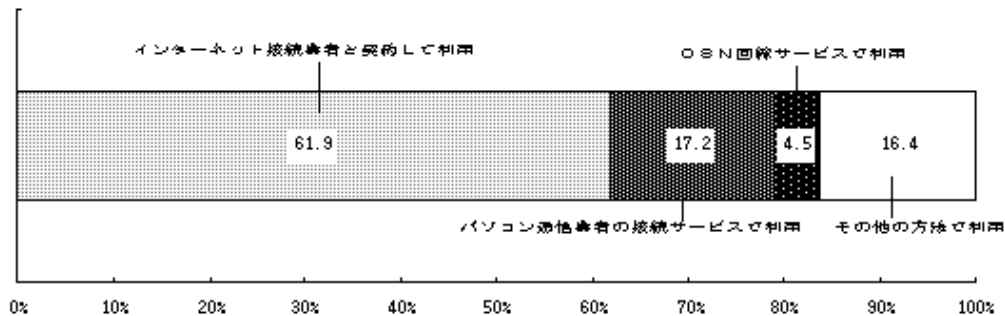
《 パソコン通信サービス・インターネット 》

3 インターネットの利用方法

インターネットを利用している事業所での利用方法の割合は、インターネット接続業者と契約して利用しているが6割(61.9%)を超え最も多い。

図Ⅱ-3 インターネットの利用方法

N=535



事業所編

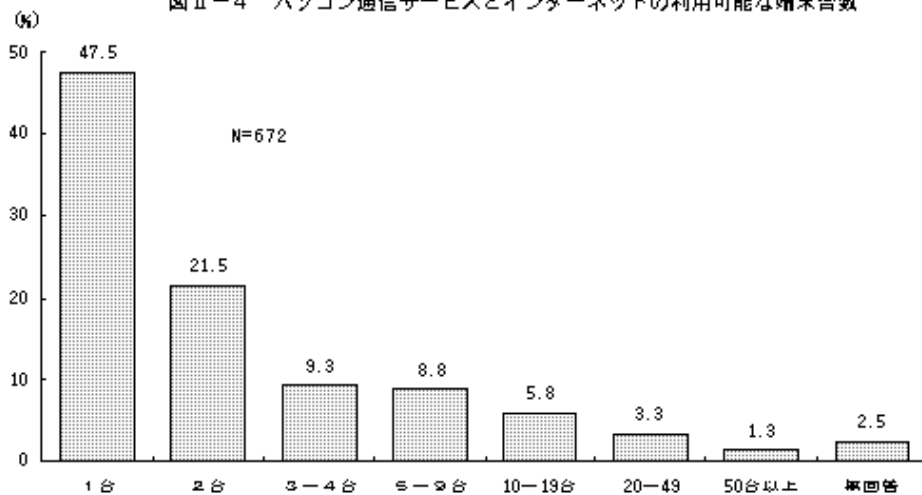
【 情報通信 】

《 パソコン通信サービス・インターネット 》

4 パソコン通信サービスとインターネットの利用可能な端末台数

パソコン通信サービス・インターネットの利用可能な端末台数の割合は、「1台」が47.5%で多く、「2台」21.5%、「3～4台」と続いており、平均で6.0台となっている。

図Ⅱ-4 パソコン通信サービスとインターネットの利用可能な端末台数



事業所編

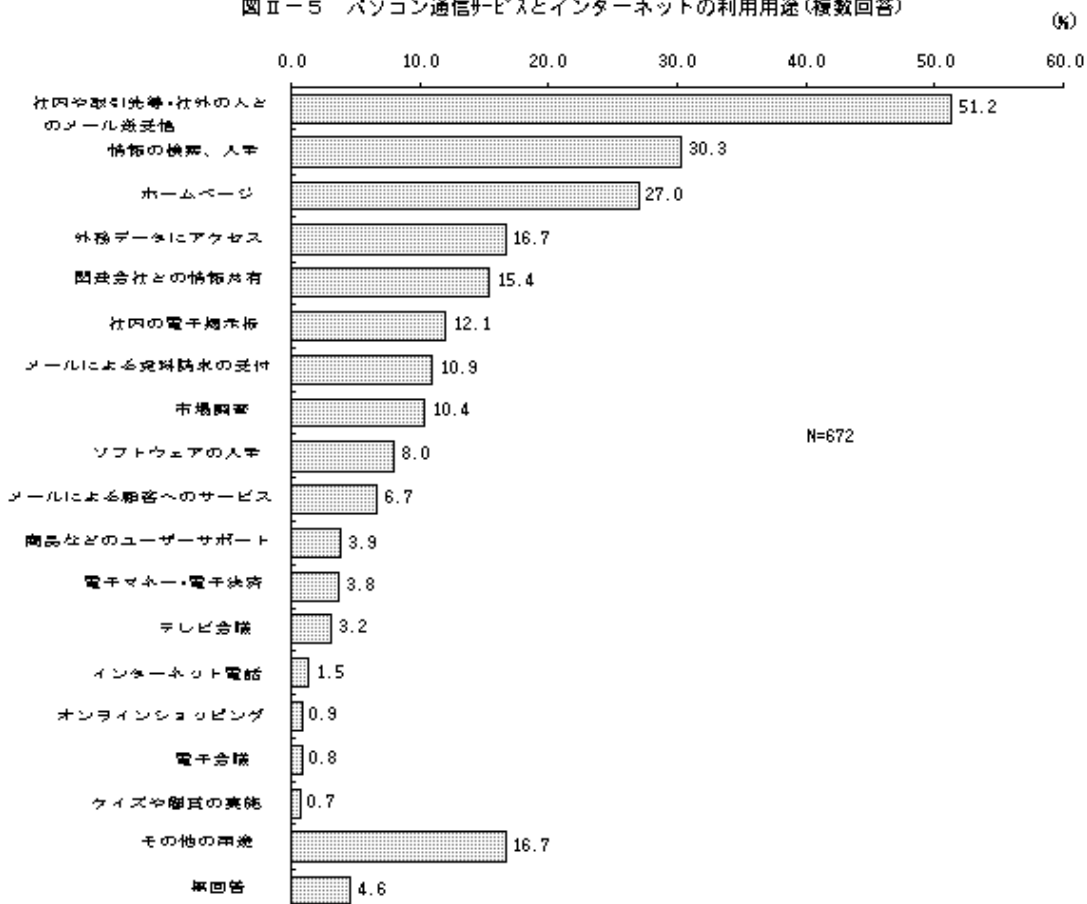
【 情報通信 】

《 パソコン通信サービス・インターネット 》

5 パソコン通信サービスとインターネットの利用用途

パソコン通信サービスとインターネットの利用事業所での利用用途の割合は、「社内や取引先等社外との間で電子メールを利用している」事業所が51.2%と最も高く、次いで「国内外の情報検索、入手」が30.3%、「ホームページ」が27.0%と続いている。

図Ⅱ-5 パソコン通信サービスとインターネットの利用用途(複数回答)



事業所編

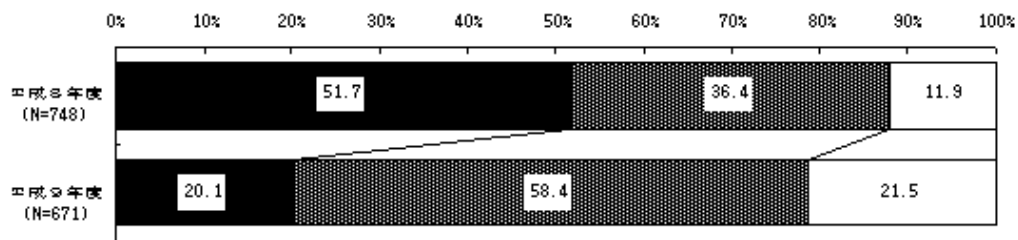
【 情報通信 】

《 パソコン通信サービス・インターネット 》

6 パソコン通信サービスとインターネットの併用状況

パソコン通信のみ利用している事業所は20.1%で前年に比べ31.6ポイント減少している。また、インターネットのみの利用率は21.5%、パソコン通信とインターネットの併用は58.4%となっている。

図Ⅱ-6 パソコン通信サービスとインターネットの併用状況



■パソコン通信サービスのみ利用 ■パソコン通信サービス・インターネット併用 □インターネットのみ利用

事業所編

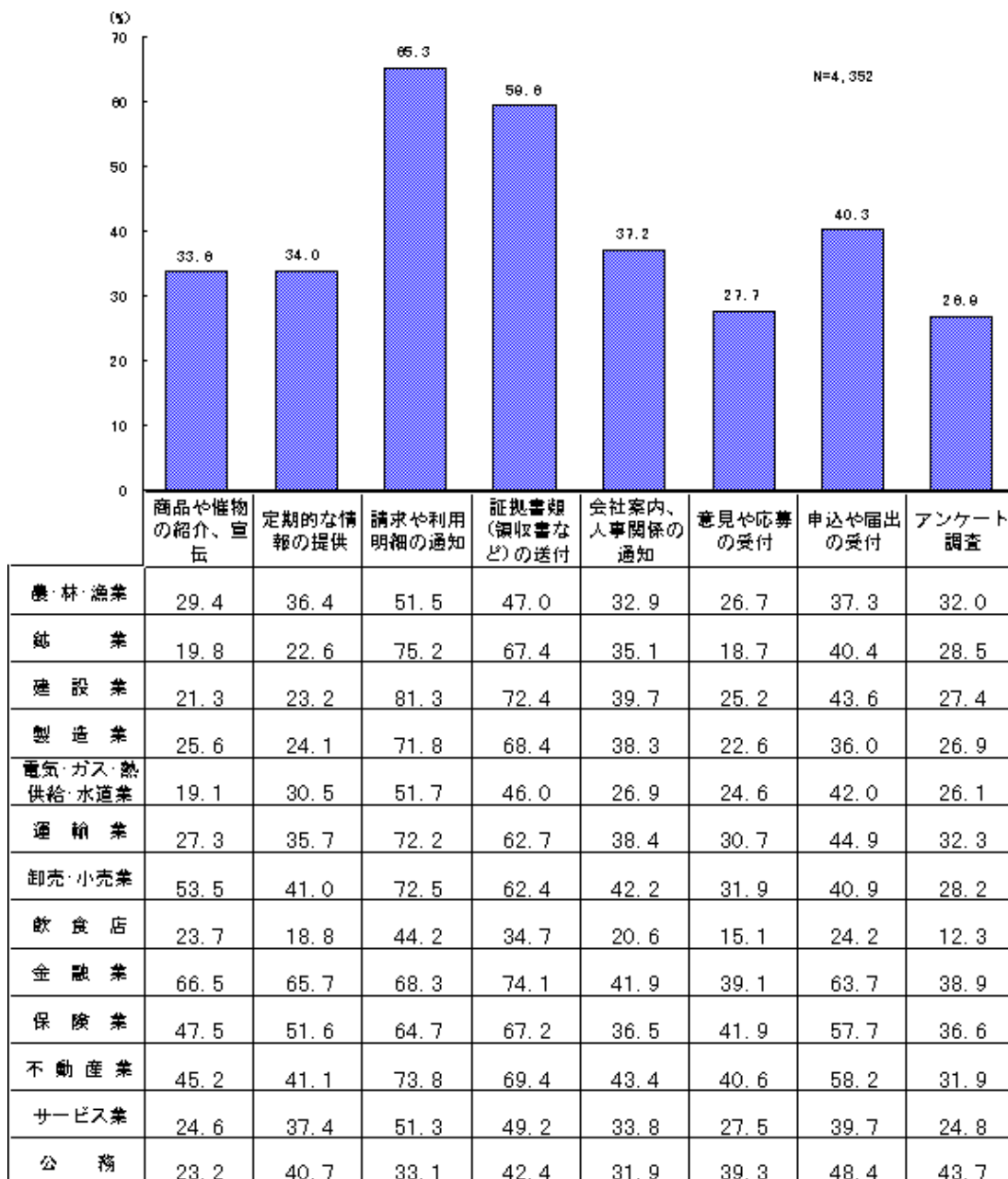
【 通信手段の選択 】

1 情報通信メディアの利用状況

取引先や顧客(公務の場合は住民など)との間の情報伝達を伴う業務の利用状況は、請求や利用明細の通知が65.3%と最も高く、証拠書類の送付(59.6%)、申込や届出の受付(40.3%)と続いている。

産業別では、建設業で請求や利用明細の通知(81.3%)や証拠書類(領収書など)の送付(72.4%)の利用率が非常に高い。また、金融業と不動産業はすべての業務において利用率が高い。

図Ⅲ-1 情報通信メディアの利用状況



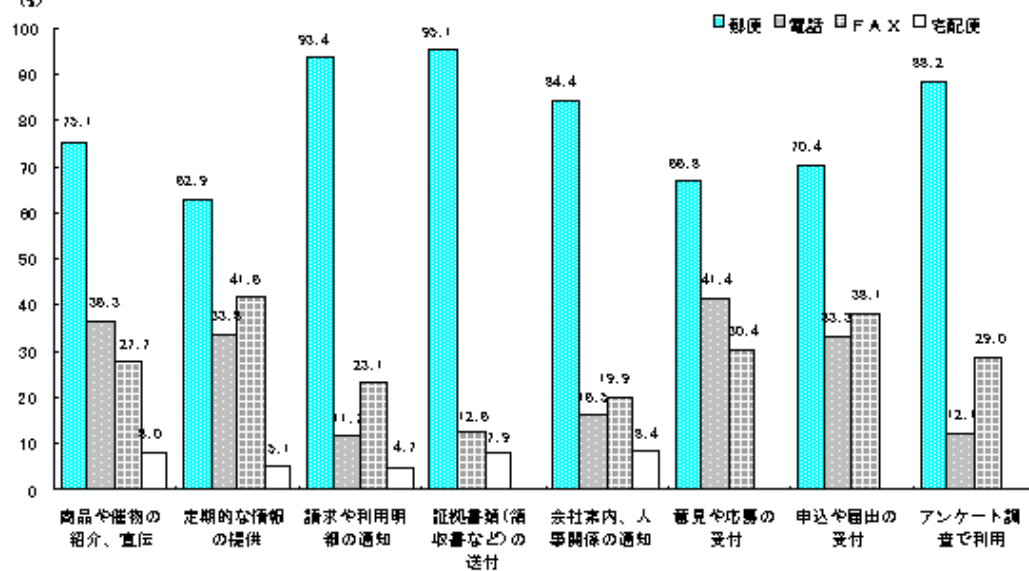
事業所編

【 通信手段の選択 】

2 情報通信メディアの選択状況

それぞれの業務の通信手段の選択状況は、すべての業務で郵便の選択率が最も高く、6割を超えている。商品や催物の紹介、宣伝及び意見や応募の受付の業務では電話の選択率、定期的な情報の提供及び申込や届出の受付の業務ではFAXの選択率が比較的高い。

図Ⅲ-2 情報通信メディアの選択状況



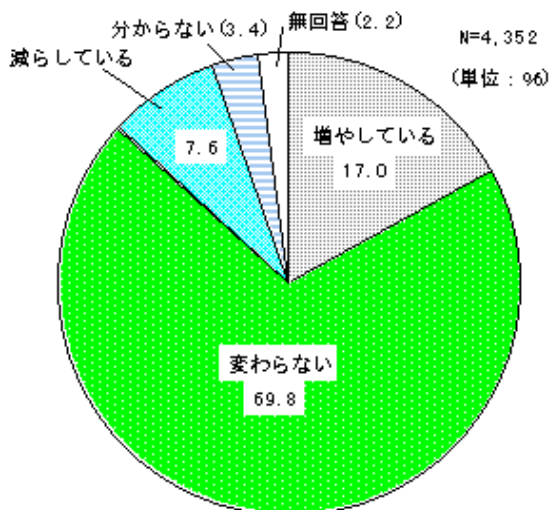
事業所編

【 郵便 】

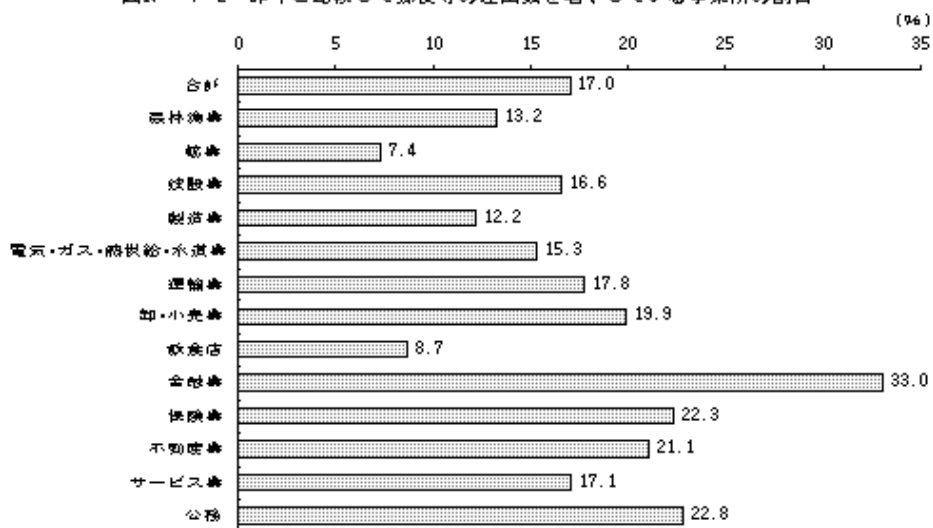
1 昨年と比較した今年の郵便等の差出数の変化

昨年と比較した今年の郵便等の差出数の変化の割合は、増やしている17.0%、変わらない 69.8%、減らしている7.6%、分からない13.4%であった。増やしていると回答した事業所を産業別にみると、金融業が33.0%で最も高い。

図IV-1-1 昨年と比較した郵便等の差出数の変化



図IV-1-2 昨年と比較して郵便等の差出数を増やしている事業所の割合

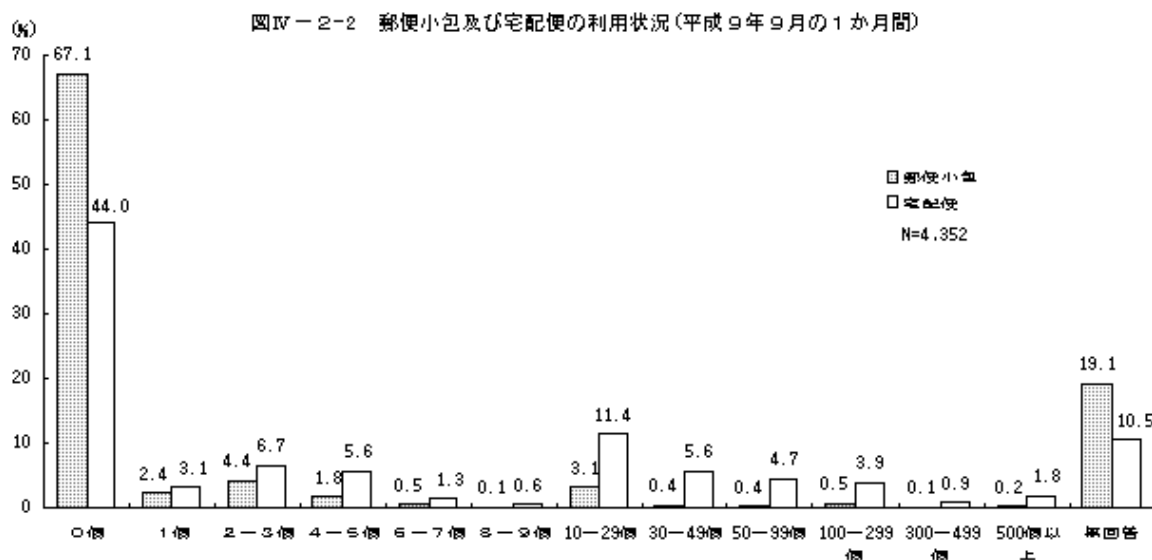
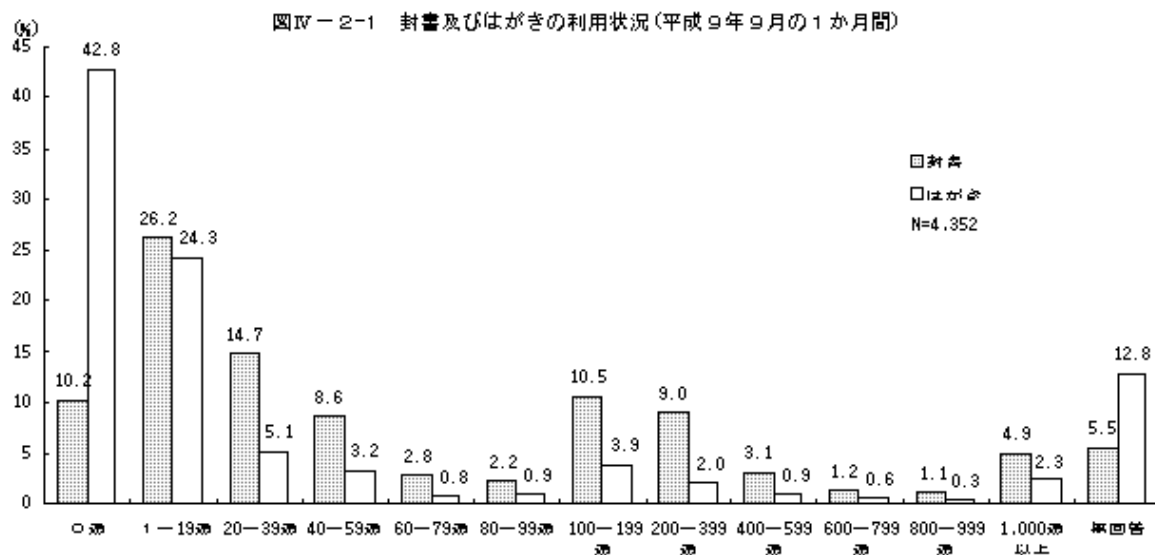


事業所編

【 郵便 】

2 国内郵便・宅配便の利用状況（平成9年9月の1か月間）

平成9年9月の1か月間に国内郵便を利用(差出)した事業所の割合は、封書84.3%、はがき44.4%、郵便小包13.8%及び宅配便45.5%。差出数をみると封書、はがきでは1～19通差し出した事業所が多く、郵便小包は2～3個、宅配便は10～29個が最も多い。

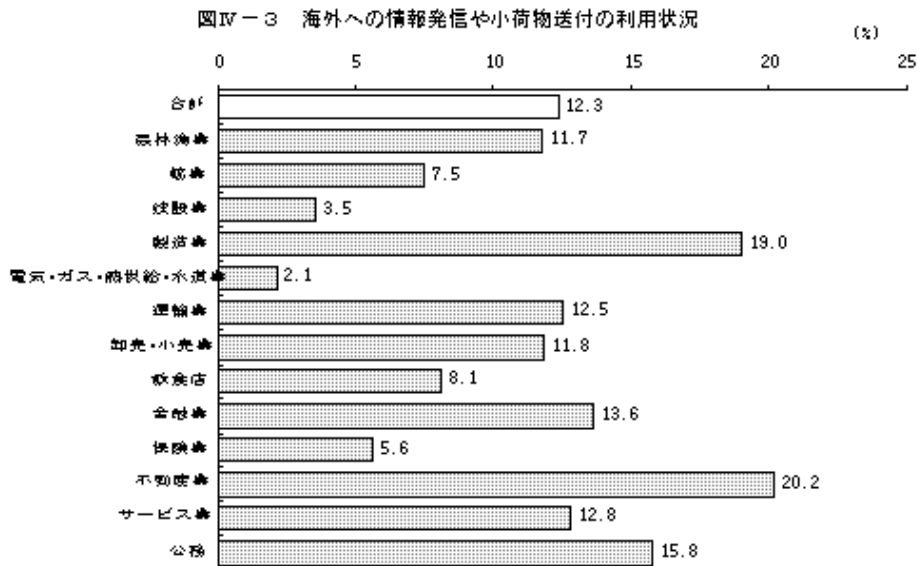


事業所編

【 郵便 】

3 海外への情報発信や小荷物送付の利用状況

海外への情報発信や小荷物送付を利用している事業所の割合は12.3%であった。産業別では、不動産業が20.2%と最も高い。

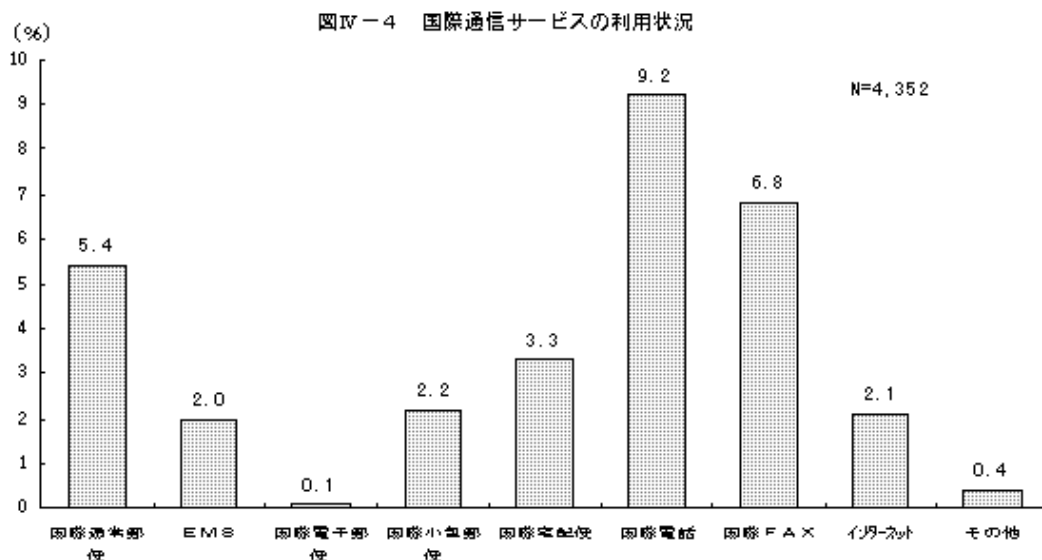


事業所編

【 郵便 】

4 国際通信サービスの利用状況

海外への情報発信や小荷物送付に利用した国際通信サービスは、国際電話が9.2%と最も高く、次いで国際FAX6.8%、国際通常郵便5.4%と続いている。インターネットは2.1%で、EMS2.0%や国際小包郵便2.2%とほぼ同じ利用率となっている。



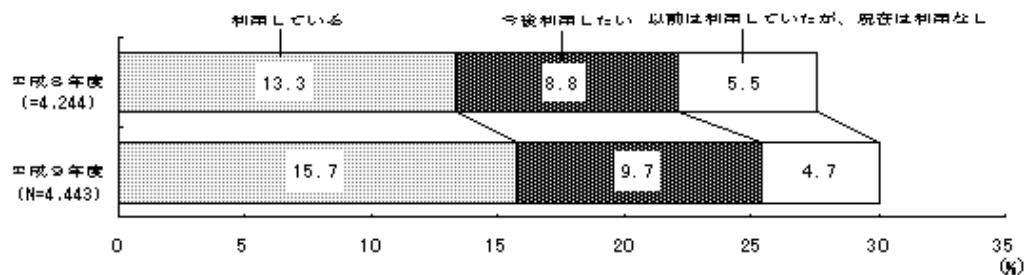
事業所編

【郵便】

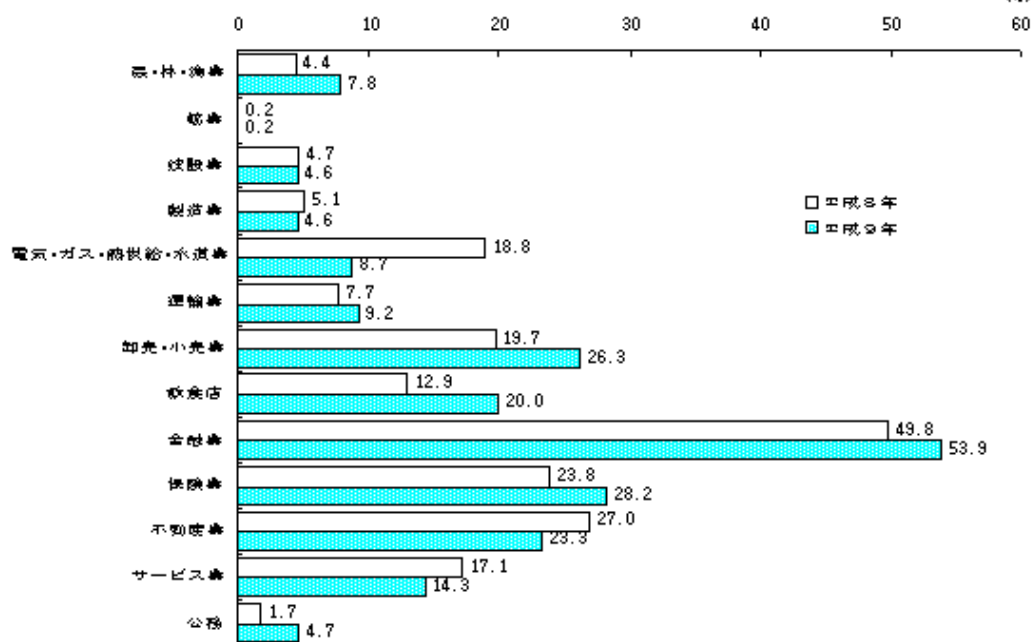
5 ダイレクトメールの利用状況

ダイレクトメールを利用している事業所(利用率)は15.7%で、前年調査と比較して2.4ポイント増加した。さらに、今後利用したいと考える事業所も9.7%で前年調査より、0.9ポイント増加している。産業別では、金融業が53.9%で最も高く、次いで保険業28.2%、卸売・小売業26.3%が続いている。

図IV-5-1 ダイレクトメールの利用状況



図IV-5-2 産業別ダイレクトメール利用率



事業所編

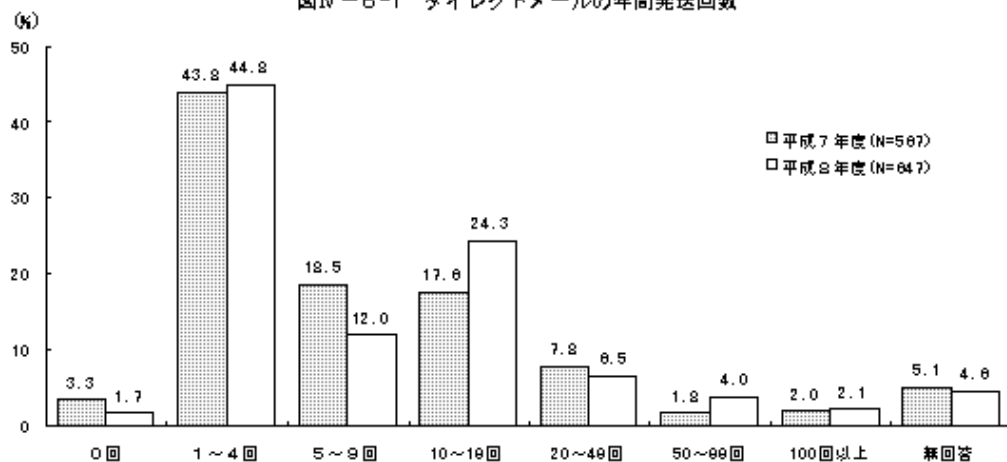
【 郵 便 】

6 ダイレクトメールの年間発送回数、発送通数

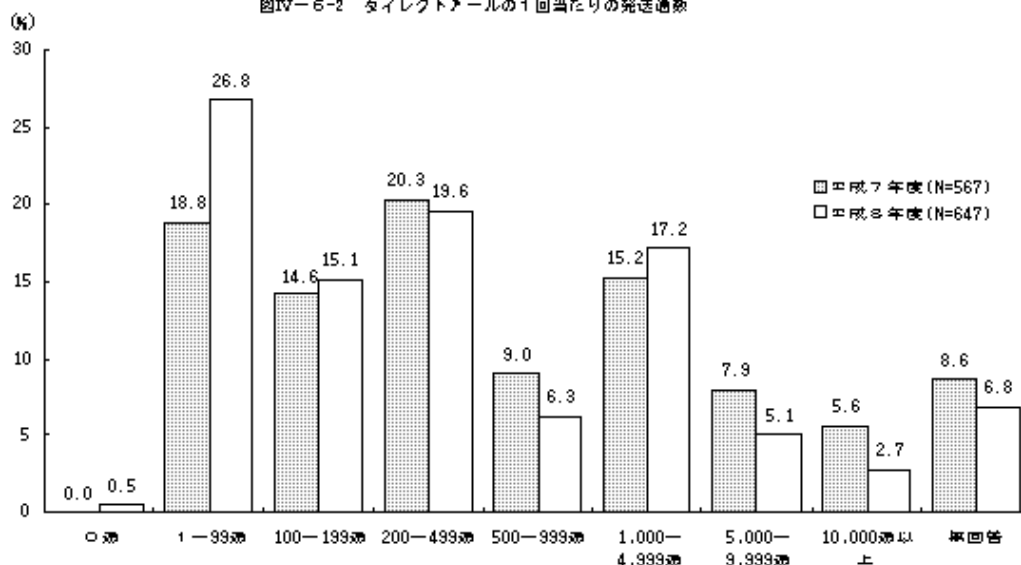
ダイレクトメール利用事業所の平成8年度の年間発送回数は、1～4回の事業所が最も多く(44.8%)、10～19回(24.7%)が続いている。1事業所当たりの平均発送回数は17.8回であった。

1回当たりの発送通数は、1～99通が最も多く(26.8%)、200～499通(19.6%)、1,000～4,999通(17.2%)が続いている。1事業所当たりの平均発送通数は1,709通あった。

図IV-6-1 ダイレクトメールの年間発送回数



図IV-6-2 ダイレクトメールの1回当たりの発送通数



※ 「0回」・「0通」とは、調査時点ではDMを利用していた事業所であるが、前年度はDMの利用がなかったもの

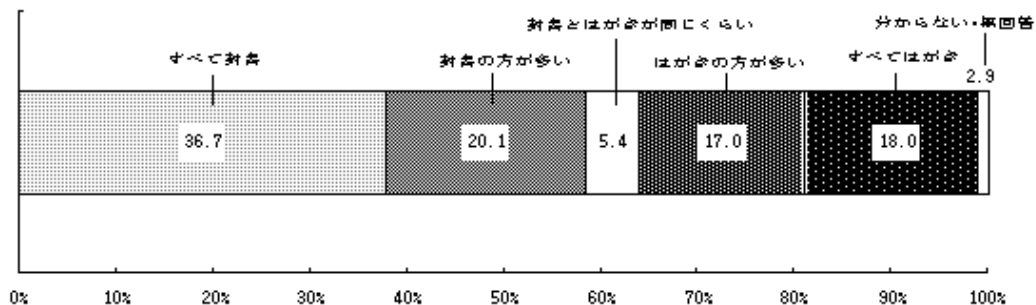
事業所編

【 郵 便 】

7 ダイレクトメールに占める封書とはがきの割合

ダイレクトメール利用事業所が、平成8年度に発送したダイレクトメールの総数に占める封書とはがきの割合は、すべて封書とした事業所が多く36.7%となっている。

図IV-7 ダイレクトメールに占める封書とはがきの割合 N=647



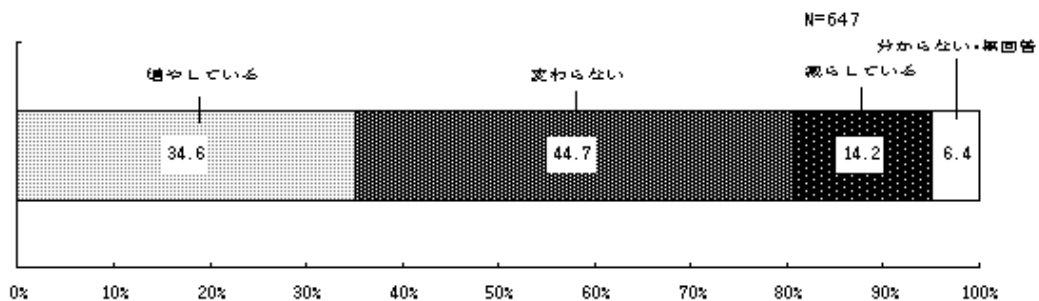
事業所編

【 郵 便 】

8 ダイレクトメール発送数の増減状況

ダイレクトメール利用事業所において、平成9年度の年間発送数(予定)を平成8年度と比較すると、変わらないが44.7%、増やしているが34.6%となっている。

図IV-8 ダイレクトメールの発送数の増減状況



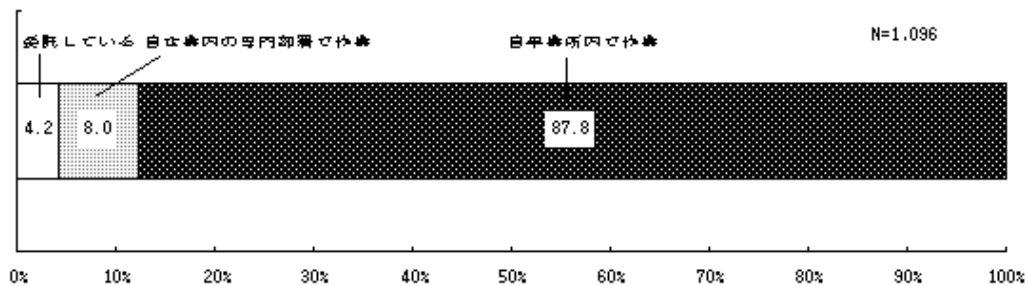
事業所編

【 郵 便 】

9 ダイレクトメール等郵便物の差出作業の委託状況

ダイレクトメール等郵便物の差出作業は、87.8%の事業所が自事業所内で作業をしており、委託している事業所は4.2%であった。

図IV-9 ダイレクトメール等郵便物の差出作業の委託状況



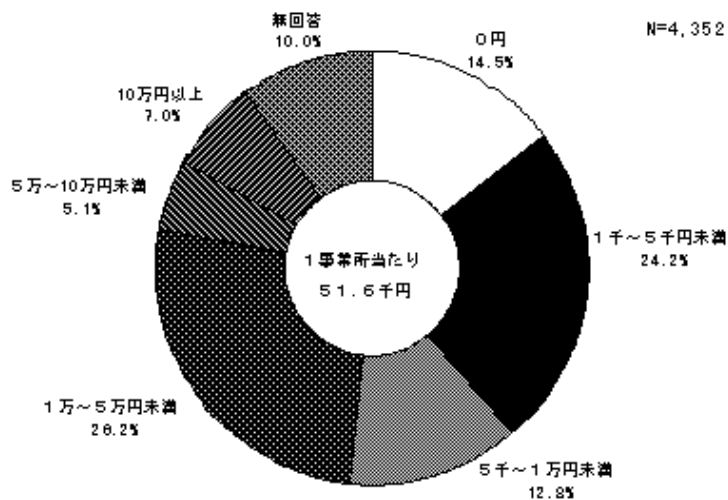
事業所編

【 事業所における利用料金 】

1 国内郵便料金の支払額(平成9年9月の1か月間)

支払額の分布をみると、1万～5万円未満が26.2%と最も多く、1千円～5千円未満が24.2%と続いている。1事業所当たりの平均支払額は51.6千円。

図V-1 国内郵便料金の支払額(平成9年9月の1か月間)



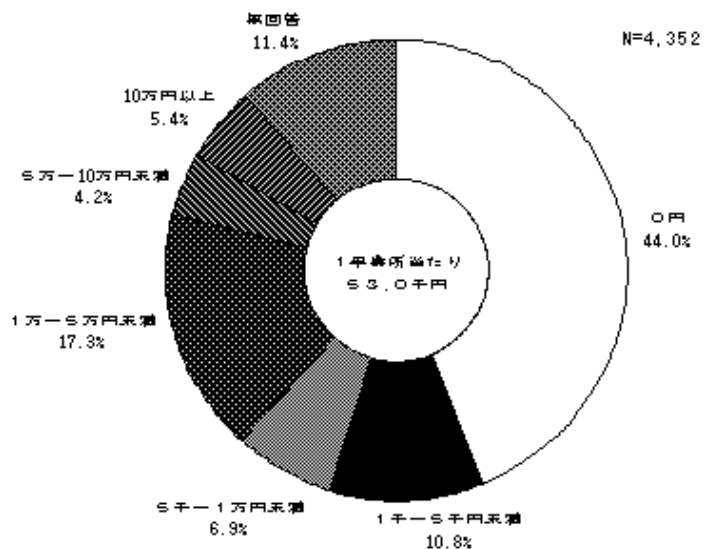
事業所編

【 事業所における利用料金 】

2 国内宅配便料金の支払額(平成9年9月の1か月間)

支払額の分布をみると、0円を除き、1万円～5万円未満が17.3%と最も多く、1千円～5千円未満が10.8%と続いている。1事業所当たりの平均支払額は53.0千円。

図V-2 国内宅配便料金の支払額(平成9年9月の1か月間)



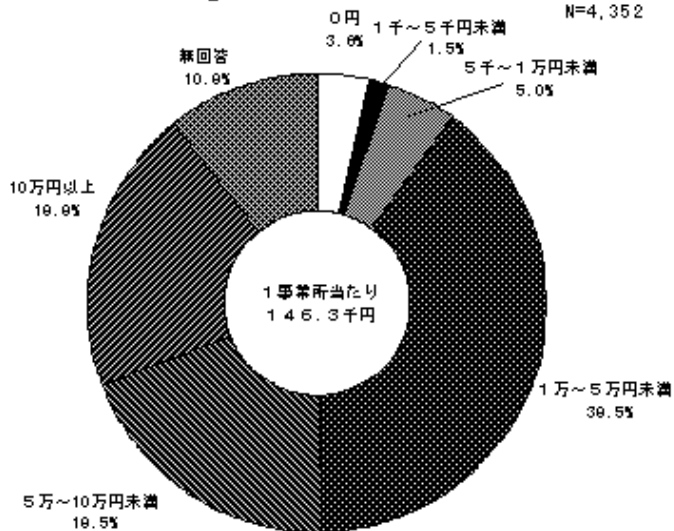
事業所編

【 事業所における利用料金 】

3 国内加入電話料金の支払額(平成9年9月の1か月間)

支払額の分布をみると、1万円～5万円未満が39.5%と最も多く、10万円以上が19.9%と続いている。1事業所当たりの平均支払額は146.3千円。

図V-3 国内加入電話料金の支払額(平成9年9月の1か月間)



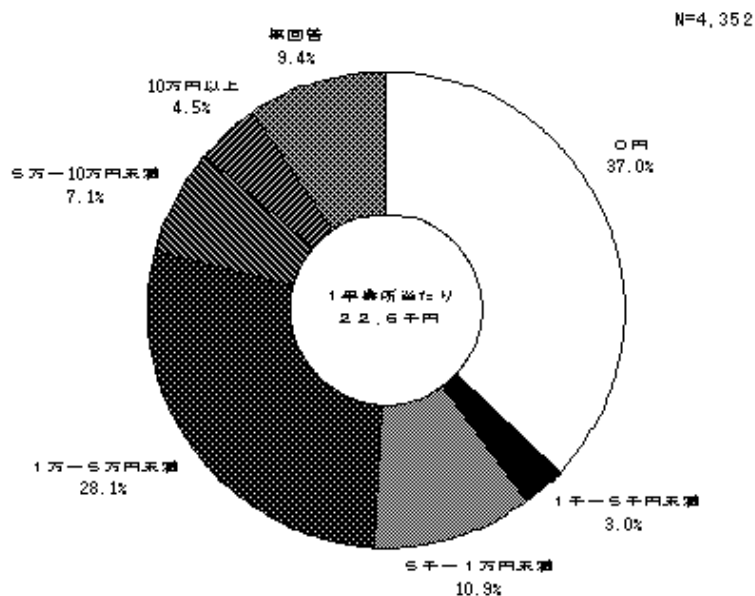
事業所編

【 事業所における利用料金 】

4 国内移動電話料金の支払額(平成9年9月の1か月間)

支払額の分布をみると、0円を除き、1万円～5万円未満が28.1%と最も多く、5千円～1万円未満が10.9%と続いている。1事業所当たりの平均支払額は22.6千円。

図V-4 国内移動電話料金の支払額(平成9年9月の1か月間)



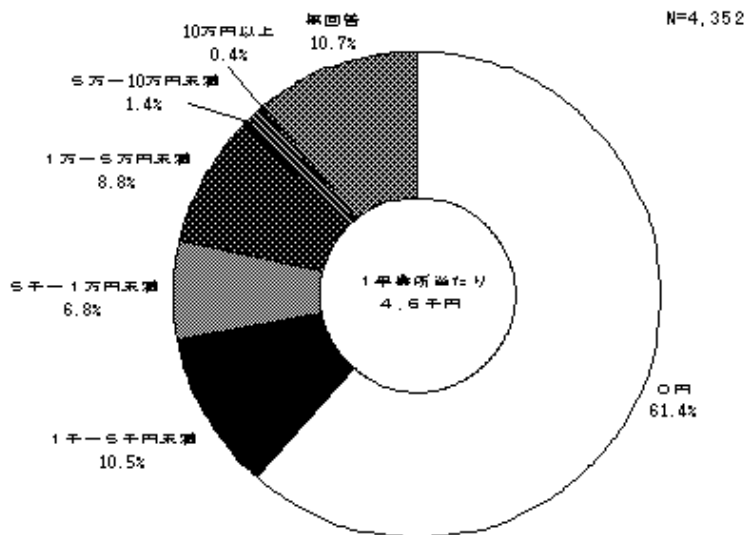
事業所編

【 事業所における利用料金 】

5 国内無線呼出し料金の支払額(平成9年9月の1か月間)

支払額の分布をみると、0円を除き、1千円～5千円未満が10.5%と最も多く、1万円～5万円未満が8.8%と続いている。1事業所当たりの平均支払額は4.6千円。

図V-5 国内無線呼出し料金の支払額(平成9年9月の1か月間)



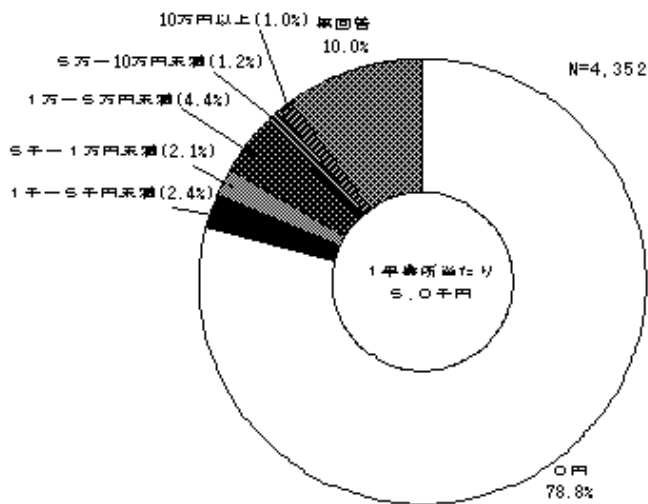
事業所編

【 事業所における利用料金 】

6 パソコン通信サービスとインターネットの利用料金(平成9年9月の1か月間)

支払額の分布をみると、0円を除き、1万円～5万円未満が4.4%と最も多く、1千円～5千円未満が2.4%と続いている。1事業所当たりの平均支払額は5.0千円。

図V-6 パソコン通信サービスとインターネット利用料金(平成9年9月の1か月間)



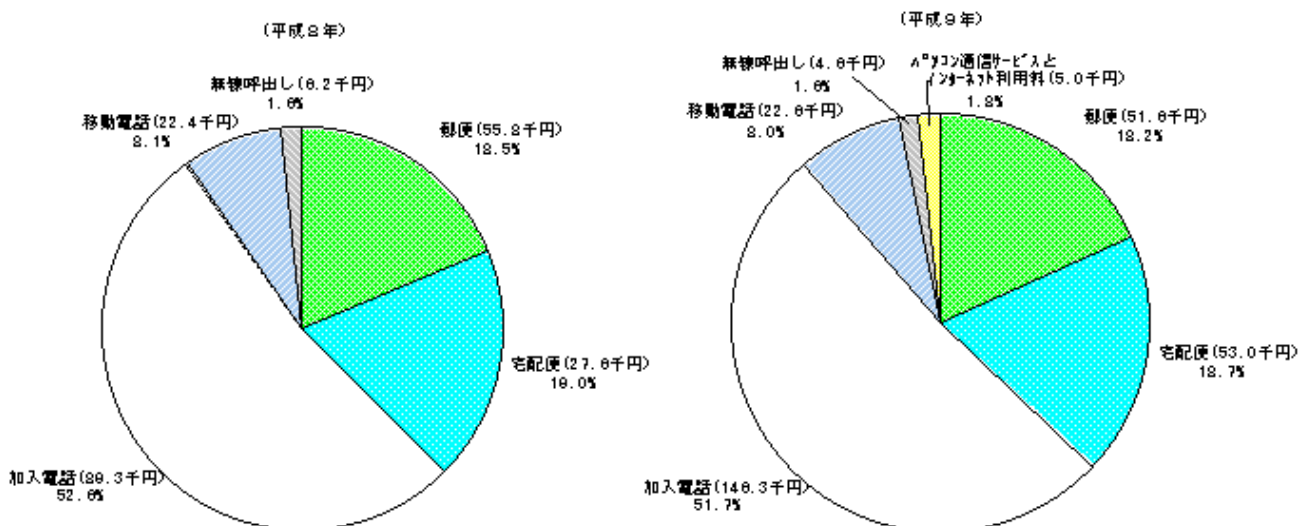
事業所編

【 事業所における利用料金 】

7 国内通信サービスの料金支払額構成比(平成9年9月の1か月間)

平成9年9月の1か月間の国内通信サービス料金の1事業所当たりの支払額は283.1千円。その内訳は、加入電話が51.7%、郵便が18.2%、宅配便が18.7%、移動通信が8.0%、無線呼出しが1.6%、パソコン通信サービスとインターネットが1.8%。

図V-7 通信への支払額構成比(平成9年9月の1か月間)



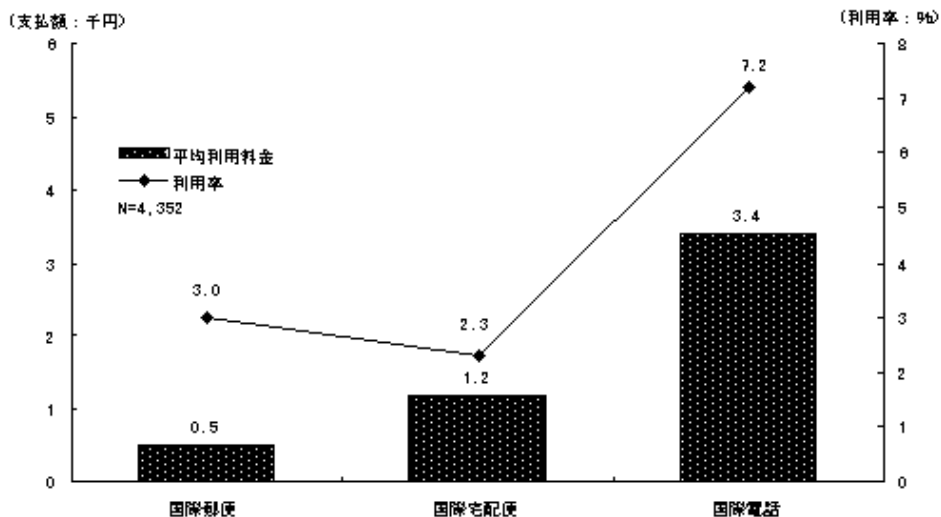
事業所編

【 事業所における利用料金 】

8 国際通信サービスの料金支払額(平成9年9月の1か月間)

平成9年9月の1か月間に国際通信サービスの利用料金を支払った事業所の割合は、国際郵便が3.0%、国際宅配便は2.3%及び国際電話7.2%。それぞれのサービスに対する1事業所当たりの平均支払額は、国際郵便は0.5千円、国際宅配便は1.2千円、国際電話は3.4千円であった。

図V-8 国際通信サービスの利用率及び平均支払額(平成9年9月の1か月間)





郵政省（平成9年）通信利用動向調査 調査票 《事業所》

◎ この調査は、統計報告調整法に基づく承認を得て実施するもので、調査票は統計作成以外の目的に使用されることはありませんので、ありのままをご記入ください。

(記入に当たっては、次の点にご注意ください。)

- 1 調査期日は平成9年10月1日現在でご記入願います。
- 2 提出先 〒141 東京都品川区東五反田3-14-13 高輪ミュージズビル
(照会先) 社団法人 中央調査社
TEL：03(3449)4511、FAX：03(3449)4516
- 3 本調査は、郵政省が上記調査社に委託して実施するものです。

(あて名ラベル貼付位置)	本調査票を作成して いただいた方の所属 部署名	
	作成していただいた 方のお名前	
	ご連絡先の電話番号	

問1 「郵便等の利用状況」についてお尋ねします。

(1) 貴事業所では、昨年と比較して今年の郵便等の差出数について増えたと感じられますか、減ったと感じられますか。該当する番号に○印を付けてください。

1. 増やしている	2. 変わらない	3. 減らしている	4. 分からない
-----------	----------	-----------	----------

(2) 貴事業所では、平成9年9月の1か月に、国内のどちらかに手紙や品物を送るため、郵便や宅配便をご利用になりましたか。利用された場合は、それぞれの差出数を数字で記入してください。

また、「利用がなかった」もしくは、郵便等の発送は、本所(本社)などが一括して行っているため、事業所限りの利用通(個)数はわからない場合は、ご面倒でも「0」と記入してください。なお、宅配便とは、ヤマト運輸の宅急便、日本通運のペリカン便などを指し、バイク便も含まれます。

① 封 書 通

③ 小 包 個

② は が き 通

④ 宅 配 便 個

(3) 貴事業所では、海外へ情報の発信や小荷物の送付を行っておられますか。また、どのような通信手段をお使いですか。該当する番号すべてに○印を付けてください。

1. 国際通常郵便	4. 国際小包郵便	7. 国際FAX	10. 行っていない
2. 国際エクスプレスメール(EMS)	5. 国際宅配便	8. インターネット	
3. 国際電子郵便	6. 国際電話	9. その他の手段	

問2 「ダイレクトメールの利用状況」についてお尋ねします。

(1) 貴事業所では、ダイレクトメール(DM)を利用して(送って)おられますか。該当する番号に○印を付けてください。なお、今年度とは、平成9年度=平成9年4月~平成10年3月を指し、昨年度とは、平成8年度=平成8年4月~平成9年3月を指します。

1. 昨年度、または、それ以前から利用している
2. 今年度から、利用している
3. 以前は利用していたが、現在は利用していない
4. 利用したことはないが、今後利用したい
5. 利用したこともないし、今後も利用することを考えていない

次ページ(2)へ

(2) 貴事業所では、昨年度1年間にDMを何回送りましたか。また、1回平均で何通送りましたか。それぞれ数字で記入してください。

送った回数 =					回		1回平均の通数 =							通
---------	--	--	--	--	---	--	-----------	--	--	--	--	--	--	---

(3) 貴事業所が昨年度1年間に送ったDMは、封書とはがきのどちらが多いですか。該当する番号に○印を付けてください。

1. すべて封書	3. 封書とはがきが同じくらい	5. すべてはがき
2. 封書の方が多	4. はがきの方が多	6. 分からない

(4) 貴事業所では、今年度1年間のDMの通数(予定で結構です。)は、昨年度と比較して増やしておられますか、減らしておられますか。該当する番号に○印を付けてください。

1. 増やしている	2. 変わらない	3. 減らしている	4. 分からない
-----------	----------	-----------	----------

(5) 貴事業所では、DM等郵便物の差し出し作業はメーリングサービス業者などの専門業者に委託していますか。該当する番号に○印を付けてください。

1. 委託している	2. 自企業内の専門部署が行っている	3. 自事業所内で作業している (自事業所以外)
-----------	--------------------	-----------------------------

問3 「情報通信関連機器の保有状況」についてお尋ねします。

貴事業所では、次の①～⑧の機器を保有されていますか。それぞれ該当する番号に○印を付けてください。また、保有されている場合は、何台(何個)保有していますか。数字で記入してください。
なお、レンタル・リースの場合も「保有している」に該当します。

① 携帯電話

1. 保有している	保有総数				台
2. 保有していないが、具体的に保有する予定がある					
3. 保有していないが、保有の要望はある					
4. 保有していないし、今後也不需要ない					

② PHS(簡易型携帯電話)

1. 保有している	保有総数			台	
2. 保有していないが、具体的に保有する予定がある					
3. 保有していないが、保有の要望はある					
4. 保有していないし、今後也不需要ない					

③ 自動車電話

1. 保有している	保有総数			台	
2. 保有していないが、具体的に保有する予定がある					
3. 保有していないが、保有の要望はある					
4. 保有していないし、今後也不需要ない					

④ 無線呼出し(ポケベル)

1. 保有している	保有総数			台	
2. 保有していないが、具体的に保有する予定がある					
3. 保有していないが、保有の要望はある					
4. 保有していないし、今後也不需要ない					

⑤ ファクシミリ

1. 保有している	保有総数			台	
2. 保有していないが、具体的に保有する予定がある					
3. 保有していないが、保有の要望はある					
4. 保有していないし、今後也不需要ない					

⑥ ワープロ

1. 保有している	保有総数				台
2. 保有していないが、具体的に保有する予定がある					
3. 保有していないが、保有の要望はある					
4. 保有していないし、今後也不需要い					

⑦ パソコン

1. 保有している	保有総数				台
2. 保有していないが、具体的に保有する予定がある					
3. 保有していないが、保有の要望はある					
4. 保有していないし、今後也不需要い					

⑧ 携帯情報端末(*)

1. 保有している	保有総数				台
2. 保有していないが、具体的に保有する予定がある					
3. 保有していないが、保有の要望はある					
4. 保有していないし、今後也不需要い					

(*) 携帯情報端末とは、ワープロ、ペン入力、通信、住所録などの機能を備えた手帳サイズからノート程度の大きさの小型パソコンのことです。例えば、シャープの「カラーザウルス」、ヒューレット・パッカードの「200LX」、富士通の「OASYS Pocket 3」、日本電気の「モバイルギア」などのことです。

→ 通信端末として、データの送受信や電子メールなどに利用していますか。

1. すべての端末で利用している
2. 一部の端末で利用している
3. 利用していない

問4 「通信メディアの利用状況」についてお尋ねします。

貴事業所では、①～⑧に示した業務にどのような通信メディアを利用されていますか。それぞれの業務について、郵便、宅配便(*)、電話及びFAXの中で利用頻度の高い順に該当する番号に○印を付けてください。なお、それぞれの業務のうち利用するメディアが3つ未満の場合は、利用しているメディアの数まで回答してください。また、①～⑧の業務を行っていない場合や郵便などのメディアを利用していない場合は、回答していただくなくても結構です。

	1 番 目				2 番 目				3 番 目			
	郵 便	宅 配 便	電 話	F A X	郵 便	宅 配 便	電 話	F A X	郵 便	宅 配 便	電 話	F A X
① 商品や催物の紹介、宣伝 ……………	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
② 定期的な情報の提供 ……………	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
③ 請求や利用明細の通知 ……………	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
④ 証拠書類(領収書など)の送付 ……	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ 会社案内、人事関係の通知 ……	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ 意見や応募の受付 ……………	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦ 申込や届出の受付 ……………	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧ アンケート調査 ……………	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4

(*) 宅配便とは、ヤマト運輸の宅急便、日本通運のペリカン便などを指し、バイク便も含まれます。

問5 「パソコン通信サービスとインターネットの利用状況」についてお尋ねします。

(1) 貴事業所では、「NIFTY-Serve」、「PC-VAN」、「ASAHIネット」といったパソコン通信サービスを利用しておられますか。該当する番号に○印を付けてください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用している 2. 利用していないが、具体的に利用する予定がある 3. 利用していないが、利用の要望はある 4. 利用していないし、今後也不需要 |
|--|

(2) 貴事業所では、インターネットを利用されていますか。該当する番号に○印を付けてください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. インターネット接続業者と契約して利用している 2. パソコン通信事業者の接続サービスで利用している 3. OCN回線サービスで利用している 4. その他の方法で利用している 5. 利用していないが、具体的に利用する予定がある 6. 利用していないが、利用の要望はある 7. 利用していないし、今後也不需要 |
|---|

＜この質問は、パソコン通信サービスやインターネットを利用されている事業所のみお答えください。＞

→(3) 貴事業所では、パソコン通信サービスやインターネットを利用できる端末の台数は何台ありますか。数字で記入してください。

利用できる端末台数 =					台
-------------	--	--	--	--	---

→(4) パソコン通信サービスやインターネットをどのように利用されていますか。該当する番号にいくつでも○印を付けてください。

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 社内や取引先等社外との間で電子メール 2. 電子メールによる資料請求の受付 3. 電子メールによる顧客への商品や催物の案内 4. クイズや懸賞の実施 5. 商品などのユーザーサポート 6. 市場調査 7. 電子会議 8. 社内の電子掲示板 9. ホームページによる情報提供・宣伝媒体 | <ol style="list-style-type: none"> 10. オンラインショッピングの提供 11. 支払いや振込の電子決済（電子マネー） 12. 外部データベースにアクセスして業務に利用 13. 関連会社との情報共有、データ交換 14. 国内外の情報検索、入手 15. フリーウェア等のソフトウェアの入手 16. インターネット電話 17. テレビ会議 18. その他の用途 |
|--|--|

問6 通信サービス等の利用料金額についてお尋ねします。

(1) 「通信サービス等の利用料金」についてお尋ねします。

貴事業所では、①～⑥に掲げた国内の通信サービス等について、平成9年9月の1か月間に総額でいくら料金をお支払いになりましたか。千円単位で数字で記入してください。

なお、金額が千円未満の場合は、四捨五入し、その結果、千円に満たない時や支払いがなかった場合は、ご面倒でも千円の位の欄に「0」と記入してください。

① 郵便料金 …封書、はがき、郵便小包の利用(差出)料金で、速達、書留などの特殊取扱料金を含む。

					千円
--	--	--	--	--	----

② 宅配便料金 …ヤマト運輸の宅急便、日本通運のペリカン便、バイク便などの利用(差出)料金。

					千円
--	--	--	--	--	----

③ 加入電話料金 …加入電話の基本料金と通話料金を合算したもの。

					千円
--	--	--	--	--	----

- ④ 移動電話料金 …携帯電話、自動車電話、PHS(簡易型携帯電話)の基本料金と通話料金を合算(加入料、機器の購入・レンタル料は含まれません。)したもので、年払いや数か月分をまとめて支払っている場合は、1か月に換算したもの。

				千円
--	--	--	--	----

- ⑤ 無線呼出し(ポケベル)料金 …無線呼出し(ポケベル)の使用料金(契約料、機器のレンタル料は含まれません。)で、年払いや数か月分をまとめて支払っている場合は、1か月に換算したもの。

				千円
--	--	--	--	----

- ⑥ パソコン通信サービスとインターネットの利用料金 …パソコン通信とインターネットの月額基本料と通信料金など合算したもの。

				千円
--	--	--	--	----

- (2) 貴事業所では、①～③に掲げた国際通信サービスについて、平成9年9月の1か月間にいくら料金を支払いましたか。
千円単位で数字で記入してください。

なお、金額が千円未満の場合は、四捨五入し、その結果、千円に満たない時や支払いがなかった場合は、ご面倒でも千円の位の欄に「0」と記入してください。

- ① 国際郵便料金 …封書、はがき、郵便小包の利用(差出)料金で、速達、書留などの特殊取扱料金を含む。

				千円
--	--	--	--	----

- ② 国際宅配便料金 …ヤマト運輸、日本通運などの国内会社やフェデラルエクスプレスなど海外の会社が行う国際宅配便サービスの利用(差出)料金

				千円
--	--	--	--	----

- ③ 国際電話料金 …国際電話の通話料金

				千円
--	--	--	--	----

最後に、貴事業所の概要についてお尋ねします。

- 1 貴事業所の年間売上高(*)はどのくらいですか。百万円単位で数字で記入してください。

(兆円)	(億円)					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; height: 20px; border: 1px solid black;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px; border: 1px solid black;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px; border: 1px solid black;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px; border: 1px solid black;"></td> </tr> </table>						百万円

注(*)：売上高は、平成8年度(平成8年4月から平成9年3月までの1年間)の売上高(営業外収入は含めない。)を記入してください。この期間の記入が困難な場合には、最も近接した決算前1年間の金額を記入してください。

なお、事業所として売上高のない場合には、ご面倒でも「0」と記入してください。

- 2 貴事業所の今年度(平成9年度)の売上高は、対前年度同期比で増えていますか、減っていますか。該当する番号に○印を付けてください。

なお、事業所として売上高のない場合には、「4」に○印を付けてください。

1 増えた	2 ほぼ同じ	3 減った	4 該当しない
-------	--------	-------	---------

◎ 質問は以上です。お手数をお掛けいたしますが、同封の返信用封筒にてご返送ください。
切手は貼らなくて結構です。
ご協力有り難うございました。